

無償資金協力に係る事後評価票

(注) 本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成20年度)をご参照下さい。

担当公館名：在セネガル日本国大使館	
国名：セネガル共和国	案件名：職業訓練センター拡充計画
E/N署名日：2003年5月14日	供与限度額：7.59億円
先方実施機関：セネガル日本職業訓練センター（CFPT）	完工日：2005年1月25日
他の関連協力：セネガル職業訓練センター拡充計画（技術協力）、アフリカ諸国職業訓練コース（フェーズI、II）（第三国研修）、訓練指導・コース設定（個別専門家）、起業家育成支援（技術協力）、TIG/MIG溶接（個別専門家）、職業訓練指導者養成（電子機器、自動車機械、電子工学）（マリ第三国専門家）	
1. 案件の目的 （B/D時の目標・想定効果を記載）	<p>工業技術系上級技術者の人材拡充を目指すセネガル政府の政策実現支援のため、CFPTに開設された上級技能者資格（BTS）取得コースに対して、施設及び機材などの整備支援を行い、上級技能者の養成を促進する。具体的想定効果は次の通り。</p> <p>①制御技術科を電気制御技術科と機械制御技術科に分科、拡充する。 ②日中コースの学生数を48名から72名に増加させる。</p>
2. 案件の内容	<p>機械制御技術分野の機材と共に、BTSの教室、実習棟、多目的棟（図書室、講堂、学生寮）を整備。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>BTS実習棟の外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>BTS1年生の授業風景</p> </div> </div>
3. 案件の妥当性	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価A）</p> <p>①職業訓練支援は、我が国が対セネガル経済協力重点分野に掲げる教育／人的資源開発の柱である。また1982年以降我が国は無償資金協力及び技術協力を通じてCFPTの設立と能力強化支援を実施。</p> <p>②セネガル政府は、第一次貧困削減戦略文書、第10次社会開発計画、公共投資3カ年計画、教育職業訓練10カ年計画の中で経済社会開発に資する人的資源開発の促進を掲げている。</p> <p>③基本設計（以下BD）策定段階で対セネガル主要企業アンケート調査を実施し、BTSに対するニーズを確認。また、工業高校（ルクセンブルク）、大学などの高等教育機関（世銀）、地方職業訓練センター（EU）などへ支援する各ドナーの援助動向についても事前に確認し</p>

	<p>ていた。</p>
<p>4. 施設／機材の適切性・効率性</p>	<p>全般的評価：B＋（外部有識者による二次評価：B）</p> <p>①供与機材は、B T S 日中コースのみならず、同夜間コースや在職者等の実技研修にも終日使用されており、総体的に適切な投入であった。</p> <p>②またB T S 実技用機材が充実しているため、毎年入学希望者も多い。</p> <p>③他方、研磨機についてC F P Tは、水平型の研磨機を要請していたが、垂直型の機械が納入された。同機械は授業で活用できず、供与以来使用されていないが、何らかの方法で活用できないかC F P Tに検討を要請した。</p> <p>④日本等の小規模な町工場でも一般的に導入されているとの評価（B D）から供与されたマシニングセンターは、西アフリカ唯一の機械と言われている。電子入力工作機械として最も複雑な同機械で実習を受けた生徒は、旋盤等他の電子入力工作機械も操作できる応用力を習得できる。また同機械により、フランス系国際企業のネスレやセネガル化学公社（I C S）等大手企業は、海外発注の5分の1の費用で複雑な部品の製造ができたと高く評価し、同企業でのC F P T 学生の研修受入も実現したことから、本件機材の投入意義は十分にあった。</p> <div data-bbox="699 1043 1171 1397" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">マシニングセンター（注：加工用機械）</p> <p>⑤講堂のホワイトボードは、セネガルで調達できるマジックペンでは消せないという問題があるが、何らかの方法で使用するよう要請した。</p>
<p>5. 効果の発現状況（有効性）</p>	<p>全般的評価：A＋（外部有識者による二次評価：A）</p> <p>①本件実施後日中コースの学生数が80名に拡大された（2008年）。また夜間コースも新設され、例年約120名が就学している。</p> <p>②2008年B T S 資格試験の合格率は日中コース94%、夜間コース77%（2005年の日中コース、及び2006年の日中・夜間両コースの合格率は100%）と全国平均67%よりも高く、本件実施による制御技術科の分科・拡充の成果が十分発言しているといえる。また2005年3月竣工以降のC F P T 卒業生のB T S 試験合格者は、2006～08年で合計142名（全国で838名）であり、B Dで想定されたC F P T 出身B T S 有資格者の対全国比15%目標を達成すると共に、セネガルにおける上級技術者の人材拡充に寄与した。</p>

<p>6. インパクト (上位目標への 影響等)</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:B+)</p> <p>CFPTは、在職者等の実技研修も行っており、貧困削減戦略文書、社会経済開発計画、公共投資3カ年計画で謳われている「企業パフォーマンス支援及びそのフォローアップ」に貢献している。</p>
<p>7. 自立発展 性・さらなる 改善の余地 (改善の余地がある 点については 以下に記入)</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>①CFPTは、然るべく供与機材の整備、定期点検、消耗品等の在庫管理している。また日本でしか調達できないスペアパーツについては、CFPT教員が日本で集団研修を受ける際に調達して対応している。</p> <p>②過去、日本人専門家等から整理整頓の不十分さ等の指摘があったが、現在CFPTは、外部専門家による維持管理評価を委託しており、質の高い維持管理体制の確立に努めている。</p> <p>③また、図書館に専属司書を配属し、図書電子検索システムを自助努力で導入する等システム改善に努めている。なお、今年1月からの7ヶ月間で773件の貸出が行われた。</p> <p>④CFPTは、BTS夜間コースを自助努力で新設すると共に、以下の通り外部パートナーとの関係強化や政府予算以外の財源拡大に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国家職業訓練事務所(ONFP)やACCIONA(スペイン企業)等に対する在職者等実技研修を実施(2007年実績:21件、1689時間、339名(注:CFPTの当初想定900時間を大幅に上回った)。2008年上半年期実績:12件、1111時間、154名) - スペインで就業するセネガル人労働者向け短期研修の実施(スペイン政府事業)</li> <li>- 我が国第3国研修の受入や第3国専門家派遣の実施</li> <li>- 講堂をカナダ、スペイン、ルクセンブルグ、ILO等各ドナーのセミナー会場として有償で貸与</li> </ul> <p>⑤また、独自事業の実施で運営資金は改善しているが、機材の更新や新規コースの開設については、政府の財政状況次第となる。</p>
<p>(1)対応方針</p>	<p>垂直型の研磨機の有効活用を要請し、定期的にフォローアップする。</p>
<p>(2)対応方針理由</p>	<p>なし</p>
<p>8. 広報効果(ビ ジビリティ ー)</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>①CFPTはセネガル国民の間で「日本センター」と知られている。</p> <p>②本件開所式にはウッド大統領も臨席。メディアも大々的に報道した。</p>



ワッド大統領が出席した引渡式



旋盤

③供与機材にはODAステッカーが貼付され、学生にも十分認知されている。

9. 被援助国による評価  
(外交的効果についても、本欄に記述する)

①CFPTは、セネガル職業訓練政策の中心的役割を担うことが期待されている。  
②我が国は、CFPTで中西部仏語圏アフリカ諸国向け第3国研修を実施。また、CFPTの指導員が第3国専門家として活躍する等、CFPTは中西部アフリカ地域の職業訓練技術向上に貢献しており、我が国の本件協力はセネガルのみならず、周辺国に対しても良い効果を発現している。

10. 提言・教訓

研磨機の仕様選定については、CFPT、日本人専門家、コンサルタント間での協議がフランス語で実施されたことから、日本語あるいは英語からフランス語に翻訳する過程で関係者の理解に齟齬が生じた可能性がある。機材選定には、製品カタログや写真等も用いつつ、施主、コンサルタント間で十分仕様詳細を確認することが求められる。また、ホワイトボードについては、セネガルで調達できるマジックペンの質との関係で問題が生じた。今後、黒板やホワイトボード等については、現地調達できるマジックペンやチョークの質も十分に調査の上、適切な品質の製品が調達されるよう配慮すべきである。

11. その他

TICAD IVフォローアップの一環として、2008年9月に貿易・投資促進合同ミッションがセネガルを訪問した際、CFPTの現地視察を行った。今後、CFPTからの有望な人材供給等を通じて、日系企業のセネガル進出が促進されることが期待される。